

## 安全・健康

🌐 詳細は、サステナビリティサイトをご参照ください。

[https://www.jsr.co.jp/sustainability/society/security\\_safety\\_shtml](https://www.jsr.co.jp/sustainability/society/security_safety_shtml)

### 基本的な考え方

JSRグループで働くすべての就業者(従業員、協力会社員)が安全に働き、幸せだと感じる会社を目指すとともに、地域社会の責任ある一員として環境・安全に配慮した事業活動を行います。「安全は製造業で働く全ての人にとって最も大切な価値であり、事業活動の大前提である」という考えの下、JSRでは、『安全の基本理念』、および『保安管理の基本方針』を定め無事故・無災害を目指します。

### 安全の基本理念

「安全」は、我々にとって、何よりも優先すべき大切な価値であり、すべての活動の基盤です。日々の仕事を終え、無事に帰るといふ、当たり前の幸せのために、安全、安心な職場作りと心身の健康作りに努めます。

### 安全の基本方針

#### ① 高い安全行動

安全衛生基本理念が浸透、行動指針が自分ごととして定着し、主体的安全活動により保安力が向上している。

#### ② 人財・組織力の強化

組織運営に必要な教育訓練プログラムの確立、実行により、高い個人スキルと組織能力、健全な組織風土を維持している。

#### ③ 最適なリスク管理と保安対策

リスク重要度に応じた保安対策が、新技術を活用して効率的・効果的に実行されている。

### 安全の行動指針

1. どのような状況下でも、常に安全を意識して行動する。
2. 決められたルールを遵守し、安全行動を率先する。
3. 顕在または潜在するリスクの把握と低減に努め、安全を確保する。
4. 働きやすい職場環境作り、心身の健康増進に努める。
5. コミュニケーションと創意工夫で全員参画の活動を目指す。

### 社長メッセージ



代表取締役社長 兼 COO  
川橋 信夫

化学品を取り扱う企業として何よりも大切な、不動のものとしてべき考え方が工場の安全・安定操業です。これをなくして会社は成り立たず、存続していくこともできません。

安全は事業継続の基盤であり、会社が成長していくための投資です。安全を経営の重要課題として取り組み、地域社会に安心を提供するとともに、JSRグループの従業員はもちろん協力会社員の皆さんにとっても「働いて幸せだ」と思

る会社に育てること、その状態を継続させることが私の責任です。

JSRは2022年4月にエラストマー事業の譲渡を完了しました。現在は2024年度に向けて、事業目標の達成とレジリエントな経営基盤の確立に取り組んでいます。その中でも安全は特に重要な要素であり、今後の事業変革に適合した、新たな環境に耐えうる体制の構築などが求められています。

JSRがサステナブルで社会から信頼される会社であり続けるよう、今後も経営トップとして安全基盤の整備、安全文化の醸成を指揮し、JSRグループの全従業員とともに、さらなる保安力向上と安全に強い人づくりに取り組んでいきます。

ご安全に。

### 安全担当役員メッセージ



執行役員  
製品・品質保証部長  
高橋 純一

JSRでは、事故・災害ゼロに向けて、労働安全衛生・保安管理のレベルアップに継続的に取り組んでいます。安全の基本理念の浸透、リスクアセスメント活動、事業所安全監査、工事安全管理など、多岐にわたる活動により、安全文化の醸

成に努めています。

2022年4月にはエラストマー事業が分社化され、これを取り巻く会社組織や業務プロセスなどの環境要因が変化しましたが、製造業の基本である安全・安定操業への考え方は変わりません。

JSRグループの従業員のみならず、協力会社員の皆さまにも安全な職場を提供し、地域社会、顧客、株主などすべてのステークホルダーの皆さまへの価値提供に取り組んでいきます。ご安全に。

## 安全マネジメントシステムと目標

JSRグループでは、目指すべき「安全」の姿を明確にした中期計画「JSR安全衛生・保安管理活動ロードマップ」を策定・実行・レビューし、設備災害・労働災害ゼロを目標に、様々な安全活動に取り組んでいます。また、会社・事業所ごとの設備や作業内容、そして関連の法規制の内容を踏まえて、労働安全衛生・保安防災に関する規程類を定め、安全マネジメントシステムを構築、運用しています。

これらの活動の有効性を検証するため、社長をトップとした監査チームによる工場・研究所への本社環境安全監査を毎年行うとともに、トップと従業員が対話する機会を設けることで、経営と現場の双方の想いを共有し、環境・安全活動の活性化を図っています。また、各事業所では内部監査や事業所長によるマネジメントレビューを毎年行い、マネジメントシステムの有効性を確認し、継続的な改善を図っています。



トップ監査の様子  
(左：千葉工場 右：鹿島工場 いずれもWEB監査)



VR体感教育の様子



ドローンを用いた防災訓練の様子

## 活動実績

JSRグループの2021年度の設備災害は前年度に比べ半減しましたが、協力会社員での労働災害の発生が多かったことから、引き続き工事安全管理のレベル向上に取り組んでいます。

また、安全活動に不可欠なリスクアセスメントの評価精度向上を目的とした教育、ミニチュアプラントを活用した実技講習、VR等を活用した体感教育、リスクの種類に応じた緊急対応訓練などを行い、保安管理に関する知識・技能・感性の向上を図っています。

さらに、安全活動の優良事例については、「安全活動フォーラム」で発表の場を設けることで、従業員のモチベーションの向上と全社的な安全活動のレベル向上を図っています。

## 心身の健康

JSRグループは、従業員の身体と心の健康は、従業員とその家族の幸福な生活のために、また生産性が高く活気ある職場づくりのためにも非常に重要であると考えています。従業員が心身ともに元気に働ける職場を目指して様々な施策を積極的に実施するほか、一部拠点では、その方針を「健康宣言書」で明文化しています。

またJSRでは、従業員の働き方改革と健康づくりを一体のものとして促進していけるよう、必要な社内ルールの整備や情報発信を行う「JSR Health Promotion」活動に取り組んでいます。経営トップが健康づくりの意義を発信するとともに、産業看護職を中心としたHealth Promotion推進会議を定期的開催し、事業所横断・組織横断的な施策の実施と状況のモニタリングに努めています。

### JSR Health Promotion 推進体制

